

子どもの歯を守る懇談会 報告書

日 時	平成27年10月17日 土曜日（8時45分～9時30分）
場 所	生野区 舍利寺小学校
対 象	4・5・6年生児童生徒（及びごく少数の保護者）
講 師 名	西本 達哉 学校歯科医の出席（無）
演 題	「歯みがき名人になろう」～生活リズムの一つにしよう～
講 演 内 容	<p>1. 歯と口に関するクイズ 2. 位相差顕微鏡実習 3. 再石灰化の話（パワーポイント使用） 4. 歯みがきじょうず君・歯みがき圧測定実習 5. 教室に戻り各自歯みがき、以上の内容で授業の一コマを使って指導を行なった。（この日は土曜日の特別授業で4～6年生合同で体育館で行なった。）</p> <p>クイズは1. 上顎に前歯があるのはどれでしょう？（①ウマ②ウシ③キリン） 2. 歯みがきの習慣は何といっしょに日本へ伝えられたでしょう？（①仏教②キリスト教③鉄砲） 3. スポーツドリンクでもむし歯の原因になる？ 4. 歯の表面は鉄より硬い？ 5. 歯垢とは何のことでしょう？（①歯についたかたい汚れのこと②歯についた茶しぐのこと③歯についたバイ菌のかたまりのこと）の5題を出した。全問正解した人はは歯の博士になれますよと言ったが正解者は居なかった。</p>
学 校 の 協 力 度	<p>養護教諭の村井先生は非常に協力的で、前日器材を届けて打ち合わせをした際にもう一人の男性教諭も体育館でPCや位相差顕微鏡とプロジェクタとの接続を丁寧に確認して下さった。当日も多くの先生が聞きにきて下さった。生徒には無駄話をせずしっかり話を聞くように指導されていたようで（前日の遠足で騒いで注意を受けたらしい）静かに聞いてくれた。</p>
感 想 課 題 反 省 点	<p>私は小学校の学校歯科医であるが、体育館で100名ほどの懇談会となり、普段教室での少人数を相手に話をするのは違って生徒の気を引くのは難しいと思った。限られた時間の割にスライドは多すぎたり、実習も欲張って生徒は消化不良になったかも知れない。（位相差顕微鏡でなかなか細菌が写らず焦ったが、最後には動いている細菌が写った。）それでもクイズには積極的に答えてくれた。各教室で歯みがきをしている様子を見て回ったが、水道の蛇口も少ないのに普段から給食後の歯みがきができていると感じた。担任の先生が「せっかくだから先生に綺麗にみがけているか見てもらいなさい」と言って下さって、並んで口を開けて見せてくれる素直な生徒ばかりだった。</p> <p>終了後、保健室で養護教諭と雑談をしたが、250名ほどの全校生徒を全て把握されており、歯みがき圧測定で積極的に手を上げて前に出て来てくれた児童について、普段の姿と違う一面を見せてくれたので、今後注意して見ていきたいと言われていたのが印象的だった。生野区は推進事業をされて学校歯科保健に対する意識が今でもとても高いように感じた。養護教諭はこれからも積極的に取り組みたいらしく、何度も今回の懇談会に関して感謝の言葉を述べられた。</p>